

オ106回 支部山行

志賀高原池巡り(地図・中野岩山)

5月29日～30日(1泊2日)

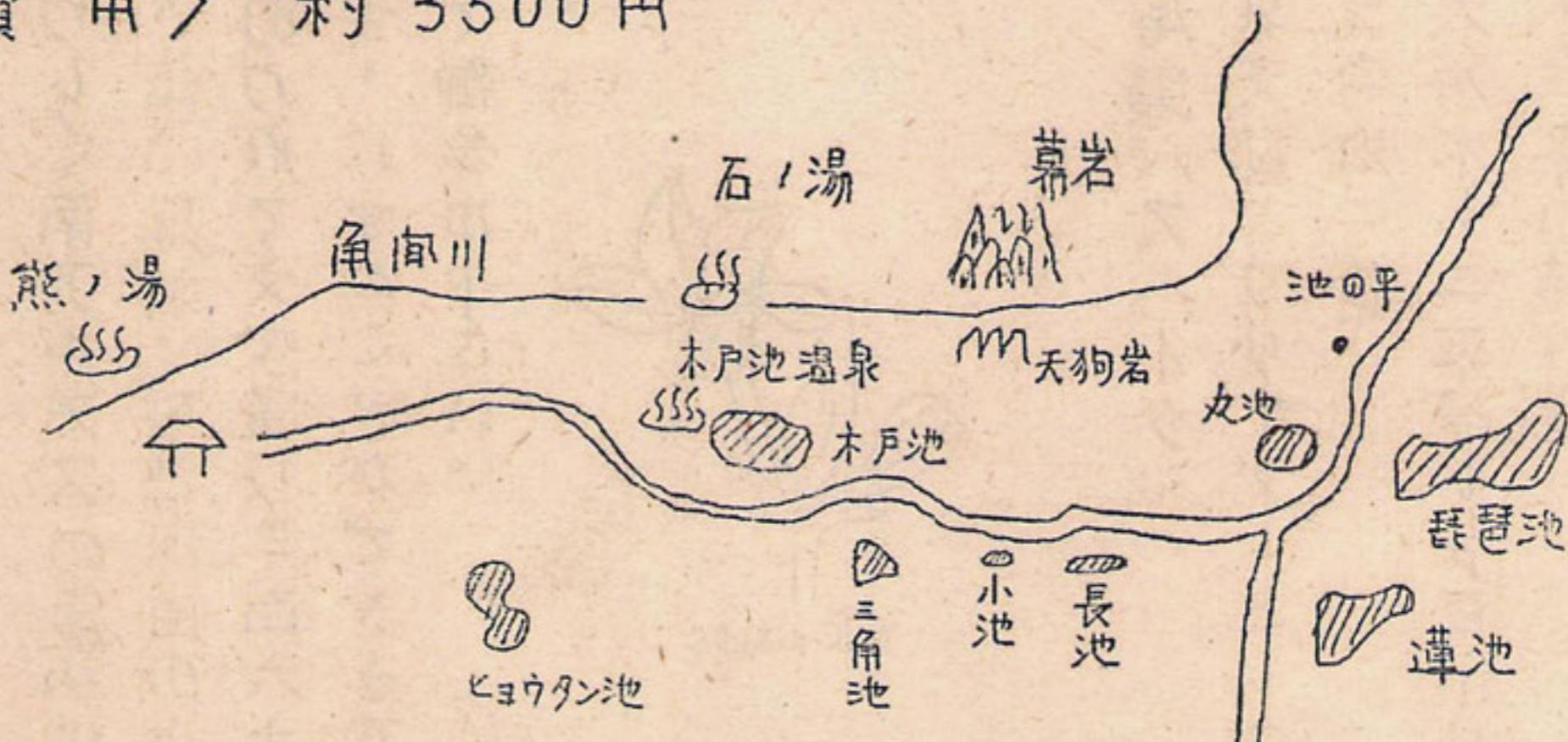
(L) 佐藤浩 (SL) 斎藤清

<コース>

初心者向きの軽いコースです。

う、そうと茂る原始林の中のひっそりとした池、コバルト色の美しい池、山桜の老木に囲まれた情緒ある池、また、水芭蕉をはじめ高山植物の宝庫でもある四十ハ池等、約10近くの池巡りです。

<費用> 約3500円



<山行打合せ日>

5月21日(金) 18時30分 於小町

<連絡先> 横浜市鶴見区矢向町494

佐藤 浩

オーロ七回支部山行

“ズスラン、レンゲツツジをたずねて”

入笠山(夜行日帰リ)

六月六日

(一) 金子スエ子 (S) 福野昌

△コース△

青柳→大沢→一本松→鐘打平→御所平→
入笠山→松平峰→大河原湿原→頬重水→

若宮→富士見

△費用△ 約一三〇〇円

合せ△

六月一日八時三〇分

横浜駅西口会場附近

於

連絡先△

神奈川区菅田町一、六二二

金子スエ子

入笠山は甘利山とともにツツジやスズランの豊富なので有名である。また、山頂の展望がすばりしく南アルプスの連山はもとより富士、ハケ岳、蓼科、など周囲の山々を指顧の向に眺められて文字通り三百六十度の展望をほしいまゝにすることができす。ふるって御参加下さい。



東武尾瀬バスハイク

—横浜支部よりリーダーとして参加—

Bコース(泊二日)

第一日 大清水→三平峰→長蔵小屋→沿尻→下

田代道→三条の滝往復

オニ日下田代→竜宮小屋→長沢新道→富士見
峠アヤメ平往復→富士見下
横浜支部担当介は左記の週です、

熊谷幹夫

オ三週5月二十八日～三十日(2)影山(2)高山
オ六週7月二日～4日(2)影山(2)熊谷

尚、会員の中でリーダーで参加希望者は申し出て下さり、登録変更は可能です、又、尾瀬に行つてみた」という方が居りました申しあり下さり、支部担当の週に参加の方には(2)より若干の費用の補助をする予定です。

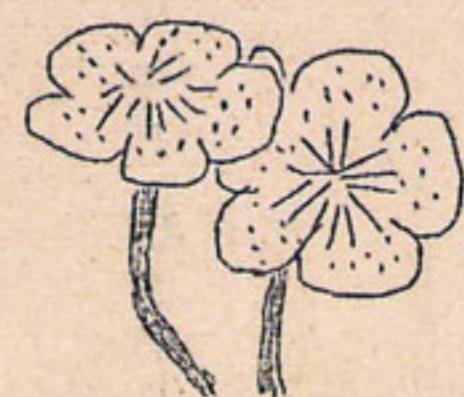
全くの初心者向きのプロムナードコース、登りはほとんどなく新緑のブナやナラにかかる林道をまばゆい残雪に輝く岩壁群をながめながら歩くものです。

天気のよい日はじぶとして衆に居れないと云う方は是非いらっしゃって下さい。

「春来すや谷川岳」

空青く鳥は唄えど、
すずらんの香り淋しく、
高原にとわに眠れる、

我が友の悲しき面影、
春来すや谷川岳



CHINGURUMA

オ四面丹沢シリーズ

谷川沢見物

六月十三日

(孫)熊谷幹夫

合ース→土合→旧道マテガ沢出合→一ノ倉

沢出合→新道→土合 歩行時間三時間

△費用 千百円

金運船先 横浜市葵北区大豆戸町ニセ東芝菊名祭

〔4月定例集合決議事項〕

- 一 集会日 現行通り、オノ火曜
- 二 準例会 現行通り、オノ木曜
- 主に山行の反省、集会の話、集会欠席者及び山行参加者は原則として出席のこと、
- 三 雜誌の購読方法
- 毎月必要な人は個人で手続する、
- 毎月必要としない人は五百円納入し、集会にて隔月受取る、この場合本部に氏名は登録されない、
- 四 集会のあり方
- 五月より地図の見方について詰合う、
- その他、天気図の見方、備品の扱い方、ザイルの結び方、食糧の計画、服装のアイデア、について詰合う、
- 五 クラブの俗名、
- 今後の集会で詰合う、

〔本部の委員会だより〕

- 一 東武尾瀬バスハイク
- 二 四十年度後半七月上十二月のSHC山行
- 三 会員倍増運動について、
新入会員を紹介された方に次の通り記念品を差上げる、
 - (1) 記念ペナント、入会一年会員を一奐とし(六月)
一奐以上の方に記念ペナントを贈呈す。
 - (2) 支部ペナント、紹介者が支部の場合成績の優秀な支部に支部旗(13×9寸)又は支部ペナントを差上げる、
- メ切九月三十日
- その他、本を一ヶ月に七冊支部に送り、それき本屋又は仲間でさばいてもらいたい、ということであった、
- 会員皆様の御協力をお願い致します、

〔委員会だより〕

四、支部備付

新規購入『天気図の書き方と知識』

銀谷国衛 朋文堂

旧会員万代氏より寄贈

『登山・技術と甲良』

山と溪谷社刊

五、備品管理（天幕・備付図書、プロジエクター）は影

山氏が行つて居ります。

六、山行連絡所は高山宅（TEL 51-0409）です。

会の資金源とする、また、尾瀬には若い人が
多く参加するので、SHC 横浜支部の PR を
する。

〔お知らせ〕

一、三十九年度支部山行参加者で写真ネガを持

五万円の一 秦野（舟辺）

ちの方は借していただきたい（影山）。

二、山岳講座オニ巻借用の方影山まで、

三、後期の山行プラン七月の集会で決めますか
うまだ受持つていないうち、あるいは受持つて

やううという方は考えておいて下さい。

薄暗い室を心配しながら木琴水・杖道を備へ、

支 部 山 行 報 告

第一〇四回 本部集中 塔ノ岳

参加者 久保田一、鶴木、

最近雨が降、天の向ひ為だ。Eから初まる運

行 事 報 告

水雲が少く物たりなり。入瀬リノ所ご相

4月19日 集会 婦人会館 出席者3名

横原文部より人達へ公にとのまゝへ贈た。右保

4月16日 本部委員会 出席者3名

と豈きモリガ人達に入りておき、互りしり

4月21日 委員会 全員

花立ど星也、塔、番、12、0、0着。集会開催

4月21日 第一。五回山行打合せ

13、0、0、0ア人の刺ぐ有つたが、本部の人達

5月1日～4日

総支津頭を頭上に立てて尊仏迎靈、之間に

支部山行、奥秩父

入り時頃もど併つた。さくざくと支部の人達

行 事 予 定

各支部り集中報告ヒ次田新ハイ社長の挨拶宣

5月21日 山行打合せ(10回)

外に出でパンザ口を叫ボ。大勢ノ声があたり

5月26日 準例会

ハ響いた。馬鹿尾根を一路、大倉までかけ下

5月29日～30日

りた。

第106回支部山行

6月1日 第107回支部山行(入笠山)打合せ。

6月6日 第10回支部山行

6月10日 第4回丹波三リーズ、打合せ

6月13日 第4回丹波シリーズ(谷川・沢見物)

例会
6月8日(火)
18時より
婦人会館
スライド上映
リだします。

準例会
5月26日(水)
19時より
(大映前)
小町

—ユーネクス—

昭和40年6月8日発行
 S·H·C 横浜支部
 横浜市中区初音町1-19(影山六)
 編集者 田野 昌

ヤ108回支部山行

丹沢キャンプ

7月3・4日(朝立1泊2日)

場所 中川川流域(西丹沢)

係 田野 昌 鈴木 口文

申込 ~~保ヶ谷保ヶ谷1-24 鈴木~~
~~中区永田町1519 田野迄~~

6月20日〆切

食料計画等の準備の都合がありますので
 メ切削にしました。遅くとも23日まで連絡
 下さい又寝袋のない人は相談に応じます。

打合せ 6月25日(金)

18時30分より 小町ダンゴ

天幕場所は打合せの時決めます。

樹令2000年を誇っている鳴杉又丹沢三大大根
 の一つ西沢の大根(50m)を見ながらテント生活
 の良さを満喫しましょう。

地図 5万分の一 奏野

オ一〇 九回支部山行

飯豊連峰縦走

7月17日(20日(三泊四日))

コース

上野 || 米坂線越後下関 || 大石 - 机差岳
- 丹内岳 - 飯豊山 - 川入 || 磐越西線山都

駅上野

費用 四,〇〇〇円

打合せ

ヤ一回 六月三十日 七時三十分
久保田宝於

ヤ二回 未定

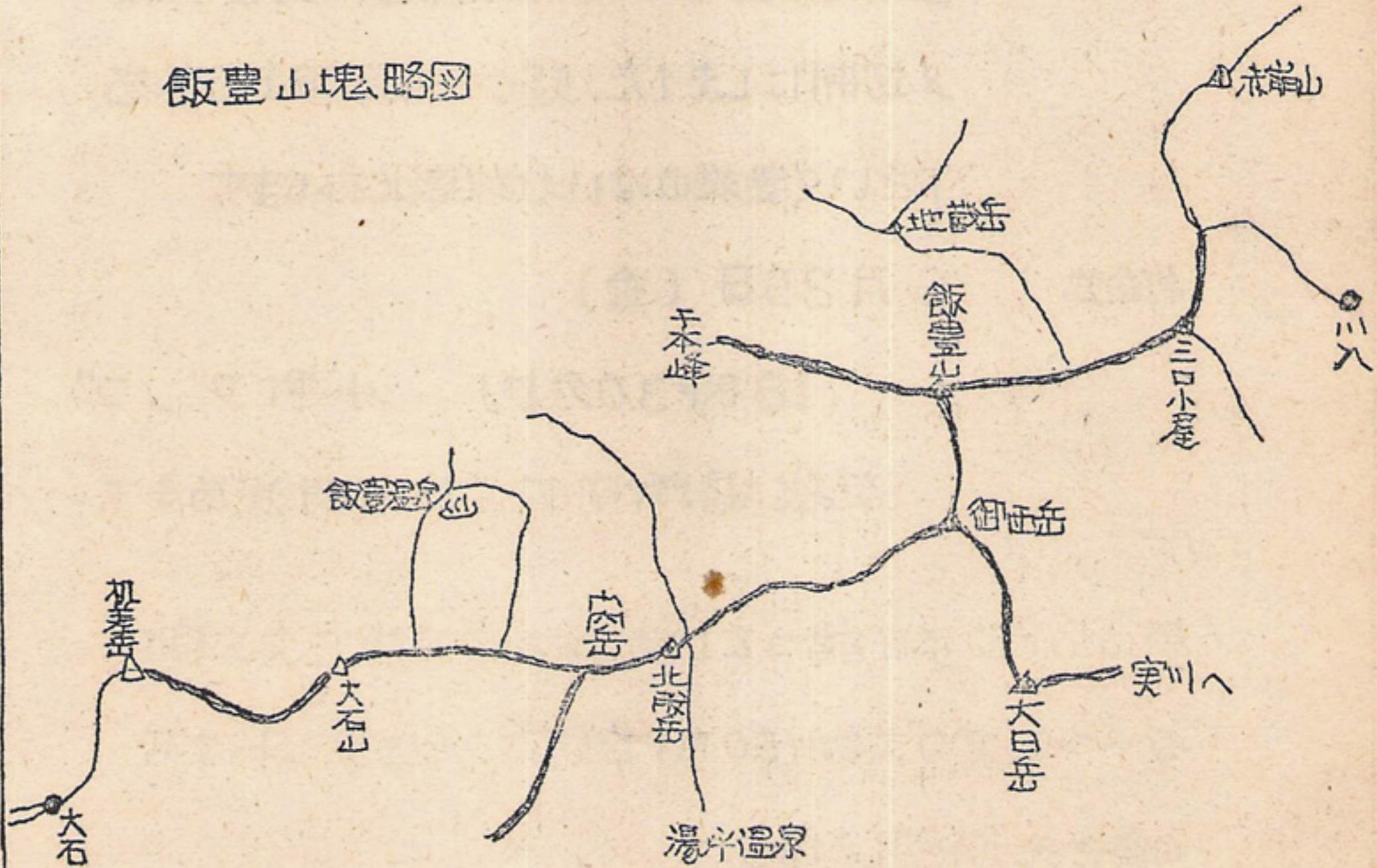
係 久保田 治

横浜市西区東丘六八
電話(勧)二六四八 久保田 口栄

申込〆切 係まで6月25日〆切



飯豊山塊略図



○ 池塘とお花畑 飯豊特有ともいわれる雪田を見にゆきましょう。

オ一〇五回山行

四〇五・一七・四五塙山(一八・五一)一九・三九高尾

奥秩父縦走(五月一日～四日)

参加者 影山元芳 熊谷幹夫係 鈴木口文

他一名

コースタイム 新宿(四・〇)韭崎(二・四五)一
 二・五五増富(一・三・四)一田・〇〇金山(二・五)一〇
 有井館(一・五・四)一五・五〇ミズガキ山荘(六・
 二・五)富士見平(一・七・一・五)泊 出発(五・四・五)大日小
 屋(六・四・五)一六・五〇金峰山(一・〇・三)一・一・〇〇
 朝日岳(二・一・〇)一ニ・四〇大弛小屋(三・五五
)一四・一五〇師岳(一・五・ニ)〇暮營地(一・六・〇)〇泊
 出発(七・〇・〇)東洋(五・三)九・四〇富士見台(一・〇
)五・〇ミズシ(一・ニ・ニ)〇甲武信岳(一・三・ニ)〇甲武信
 小屋(一・三・四)五泊 出発(五・五)〇西破風山(八・三〇
)八・四〇)東破風(九・一〇)九・ニ)〇雁坂嶺(一〇・〇
)一一・一〇雁坂峠(二・〇・〇)一一・ニ)〇沢と出

オ一日 『今夜九時頃中央線初狩駅附近で貨物
 列車が脱線し 中央線は上下線とも不通にな
 っております復旧の見込はまだたっておりま
 せん、近くの方は旅行を取止めになつてお帰
 り下さい』という新宿駅の構内放送で我々の
 山行は始まった。

23:45分の列車は4時間遅れて発車した。し

かし上・下線の前の列車がつまつていて停車時
 間の長いのにはうんざりさせられた。今頃普
 通だったら金山あたりを歩いているのに、今
 は天氣が良いといふのに寿司詰の列車の中、
 全くやりきれない。ようやく韭崎に着いたの
 が12時45分真昼中、バスの停留所ではバスが
 あるが運転手がメーテーに行つていないとい
 うことバスの台数が少なく乗れない、全く

踏んだりけつたりの状態だ、やもうえずタクシードで増富までドライヌ、乗心地は快適で残雪のハツ岳が美しい。増富で軽く腹ごしらえをして出発した。金山までの道はトラック道を歩くもので全く変化なく単調であった。金山の有井館のあたりは白樺があり牧歌的な雰囲気でミヅガキ山の岩山が見え奥秩父に入ることを感じず、金山で水を補給し今夜の幕山地の富士見平に向う。ミズガキ山莊までは相变らずのトラック道である。山莊からはトルック道とも別れて白樺林の急な登りであるこの坂はたいした距離ではないが夜行疲れの我々にとっては全くきついところだつた。ようやくだりついた展望台からのミズガキの奇岩の瞭めはすばらしかつた。そこから5分位である富士見平でテントを張る。夜は星が美しく明日の快晴を約束してくれた。オニ日 天気は昨日同様晴れ上っている。

富士見平からは樹林帯の登りで残雪があり、うつかりすると足をすくわれる。大日小屋までは大した登りでないが、大日小屋から大日岩までの登りは急勾配のラえに残雪が米づいで靴でステップをほろうとしても全然齒が立たない時には四つんばいの状態で登るしまつて大日岩から残雪のハツ岳、南アルプスの大日岩から残雪のハツ岳、南アルプスの山々が一望のうちに見渡せカメラの被写体にはことかかない。大日小屋から鞍森までの樹林帶の登りは残雪が多く時々道を踏みはずすと膝まで入りこんでしまう。夜線に出ると雪はほとんどなく金峰山の五丈岩はもう向近かである。相变らず天気も良く三百六〇度の展望を楽しみながら金峰山を通過し 鉄山あたりから急に雪が深くなり一米以上の残雪である。朝日岳にたどりつくあたりから雲行きが悪くなり出した。朝日岳で昼食を食べ大強

小屋に向ひ明日の行程を考え口師に向う口師の登りは雪がくさつていていため登りにくくなる。やく頂上に着くがスが遠くなり風がでてくる。口師を下つたところで雪を踏みひいためてテントを張る。20時頃みどれが降つてきた。や三日朝起きるとけげしい風雪でテントの撤収はつらい。積雪は20cm位である。トレスを深し／＼甲武岳に着くこの日は甲越信小屋に泊る。

和四日 うそみたに晴れ上り ラッセルをもながら破風山に向う。破風の登りは風が強く雪煙が舞い上りまるで小石をぶつけられているようである樹林のないところは特にひどく四つんばいになりながら風の弱まるのを待つて行動しなければならなかつた。西破風をどうにか通過し東破風の展望は格別であつた。だいぶ風もあさまって雁坂に向ひ船で大休止し峰に向いそこから天科への入り下つた。

雲取山ノ雇車

参加者

奥野他2名

三峰山頂駅(2.15霧集が峰)4.白岩小屋(7.00)5.30雲取山(8.00)6.15北天のタル(11.00)45持監峠(14.00)4.20笠取小屋(15.00)6.30雁坂峠(10.00)引人乗りのロープウェイを捨て平な道を神社の脇を通過すると道は階段となりきつくなる。前白岩の登りもきつい。白岩小屋は前白岩と自岩山との鞍部にあり水場は、たらり／＼と出ている程度である。白岩の登りも急で道は風根をまくようになる。鞍の道は氷ついてつるりとやるので慎重に下り大ダワに着く。靈取山の登りで靈取山荘の前を通るいよ／＼靈取山の登りで靈取山荘の前を通る水場は水造式になつていて、この辺りから雪がソ々あり氷つていて、この辺りから雪のことで靈取山に着く。山頂から急ぎ下りて三条ダルミまで下るとあとは平な道で持監峠を通り笠取小屋へ。途中水場はところどころにある。雪は全然お目にかかるない。笠取

小屋の水場は、2本の竹筒でとつてあり、豊富に流れていた。小屋はものすごく湿んでいるようである。3日の日に雪が降ったので、辺り一面真白となる。少なほところでは、雪積つただろう。水晶山の登りは急で、ここを登りきると、だらりと上り下りで、雁坂峠に着く。三日の日を除き、好天に恵まれ、良い山旅であった。

(手しらせ)

○山行連絡所の変更 熊谷室(TEL 495053)

電話は午後7時59時まで

ニュース部報の原稿募集

毎月25日〆切

宛先 熊谷幹夫

埼玉県大豆戸町二一七 東芝第名寮

行人山

6月20日夜行日帰り

大曾根連絡

久保田電話(勤)

6月26日 2648

例会

7月13日㈬

18時より

婦人会館

準例会

6月23日

19時より

小町だんご

行 古宇 胡秋 生口

5月11日 例会 出席者11名 婦人会館

5月26日 準例会 出席者2名 小町

委員会 出席者 全員 小町

5月29・30日 志賀高原池巡り 参加者 名

6月6日 入笠山 中止

行 古宇 又丁 占ひ

6月10日 沼田岳祭見物打合せ 18時30分 小町

6月13日 岩川岳見物山行

6月23日 準例会 19時 小町

6月25日 丹沢キャンプ打合せ 18時30分 小町

6月30日 飯豊山打合せ 19時30分 久保田毫

7月3・4日 丹沢キャンプ山行

二ユース72号

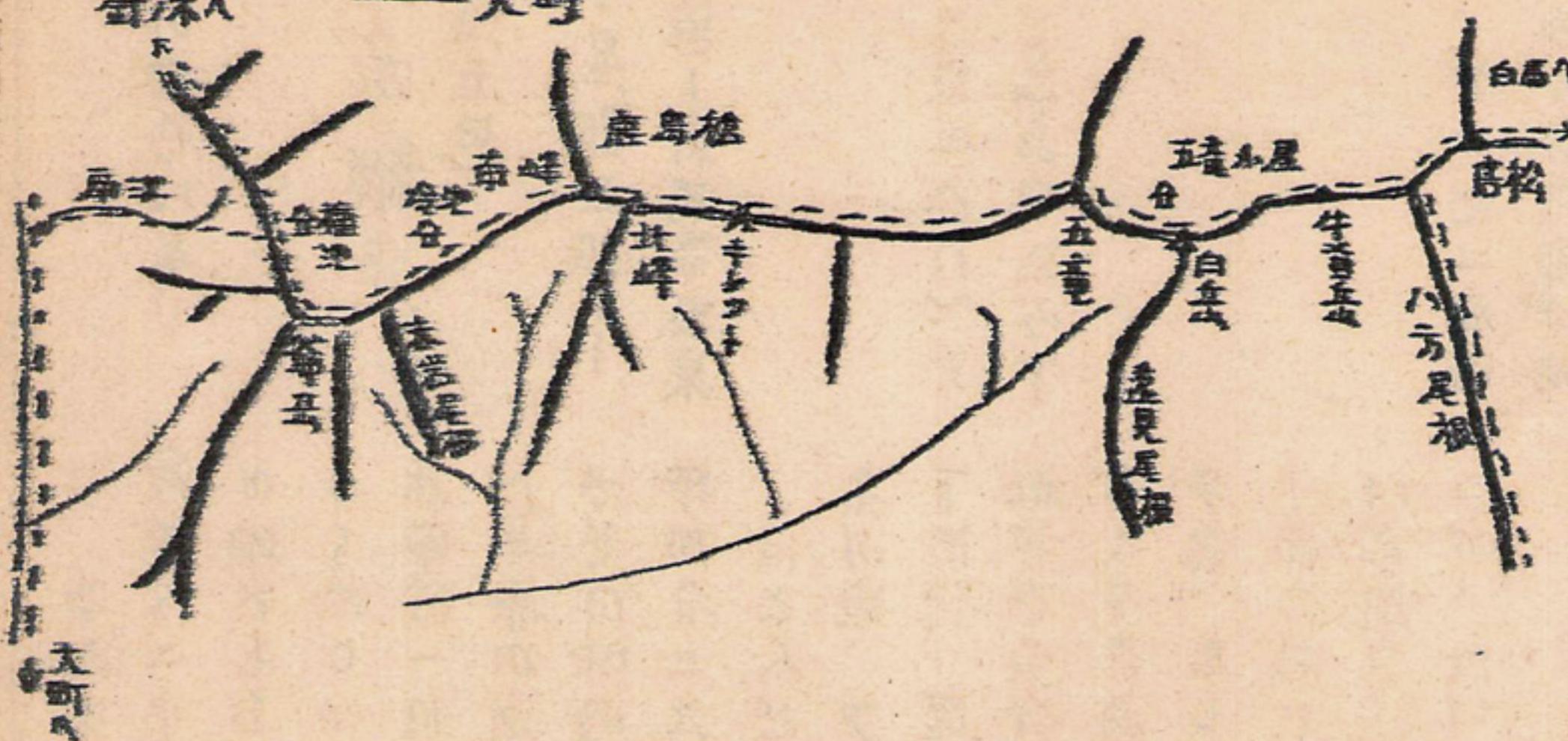
昭和40年7月13日発行
5-H-C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山)
編集者 熊谷幹夫

第111回支部山行

夏山合宿(後立山)

5月 21, 22, 23日

コース 第1日 新宿—信濃四ヶ岳—細野ケ原免平
—唐松出張—白岳—五竜小屋(露營)
第2日 五竜小屋—五竜岳—キレット—
鹿島槍—冷池(露營)
第3日 冷池—爺々岳—種池—扇沢
—大町



備. 影山(4) 熊谷(54)

費用 約 2500 円

打合せ 8月 17日 18:00 小町だんご

第110回支部山行

丹沢新茅ノ沢

7月 25 日

編集者 熊谷幹夫

打合せ 7月 23 日 18:30 小町

オーロ九回支部山行

飯豊連峰縦走は久保田氏の都合により
次のように変更致します。

北ア 黒部五郎→笠岳縦走

ワ月17日～22日(四泊五日)

コース

新宿→富山→太郎小屋(追)→黒部五郎→

三俣連草(追)→双六岳→笠岳(追)→新穂高温泉

→松本

費用 800円

希望者は久保田治(穂高市西区東丘六八)、又
は久保田口榮(68)ニ六四八まで申込み下
さり。

リ、参加者は花を観賞するどころでなかつた。
(残雪は三平峠で一m、沼のほどりで五〇・六
〇cmでもちうん船は出なり、尾瀬が舟でも五
〇・六〇cm、沼尻より下田代、長沢新道の樹
林帯は一m以上、富士見峠も一m以上であつ
た)三条の滝は台風と雪溶け水のため水量豊富
でその眺めは壯觀であつた。

参加者三九名へ女性が七〇%以上であつたが
'ほとんどの人が予想外の残雪に苦しみ、三
条の滝、アヤメ平往復した人は半分程でした
下田代、尾瀬小屋に着いた後、疲労からか貪
血等で気分が悪くなつた人が二、三あつたのに
は我々をあわてさせた。

今後、もしリーダーとして行く場合、一応の
予備知識及び一揃の医薬品を持参した方が良
いと思う、(業岳は東武の乗車券も持つては
るが、たりしたものは持つていな)

ハ東武尾瀬バスハイク報告✓

オニ週(五月ニ十九日、曇)

水芭蕉、立金花、ザゼン草、その他二種の
花々が咲き始めた頃で、まだ多くの殘雪があ

オハ週(二月三日～四日曇のち晴)

木芭雑、立金花、フタスグ、立山リンクドウ、イワカガミ、チングルマ、ヒメシヤクナゲ、ハリツ、ジ、他二三種の花が咲き、また例年ならば咲いてりるキスゲは今年の気候が半月ほどずれていみたのまだ見ることはできなかつた。

参加者四七名(女性三〇名)で年配の人数多かつた、行動中時間を利用してとじで走だと捕らうことも聞かれた、我々の持つていた箇も骨感だつたとか、やはり前回同様、気介の悪くなつた人廿二人、足枷革いとキラ人加二も三人出た、これらは尾瀬という名で軽く見た跡もあつたと思う、リードラーとして参加する場合、何んと云わばようか团体行動のため、やはり時向の制約を多少強制に行う必要があると思われた。(蓼山記)

(山行報告)

谷川沢見物 六月一三日 夜行日帰り

参加者、佐次和子、本田美智子、鈴木口之

熊谷幹夫(孫) 他一名、

コーススタイル 土合五、ロ三、トマチが沢出合五、五〇、トシ字岐六、ニ〇、トマチが沢出合七、ト一ノ倉沢出合七、三五、九、四〇、ト鹿ノ沢出合一、〇、〇、ト虹芝寮一、〇、ニ五、ト新道一ノ倉沢出合一、〇、三五、一、ニ、三五、ト合一、三、二〇、

上野を発つときは雨が降つてあり先が案じられたが、我々のペティにも一人位は行けのよい人が居つたらしく、土合に着くと雨も止み晴間に見えてきた、今年は例年になく残雪が多く、雪渓のだけごく寒を満喫できた、さかりに咲いていた、シンセン岩峰、一ノ倉の苔壁もまたすばらしかった。

△委員会だより△

各月の集会で次のテーマについて話し合ひます。
致りますので御協力願います。

七月 各自のハイキング時の食べ物について、
八月 四季の天氣について、

九月 天気図の書き方、

十月 天気図の書き方のテープレコードによる
る実習、

十一月 ハイキング時の個人装備について、

十二月 冬のハイキング・スキーについて、

一月 新年会のため休み

二月 反省と来期への希望

△新入会員招引△

齊藤興司

横浜市保土ヶ谷区川島町二四四一

旭硝子鶴ヶ峰寮

七月より入会致しましたのでよろしく
お願ひします。

行 事 報 告

6月8日 例会 出席者8名 縦人会館

6月13日 岩川沢見物 参加者4名

6月23日 準例会 出席者5名

7月3・4日 丹沢キヤンプロ 中止

行事予定

7月15・22日 オリ回支部山行

7月28日 準例会 小町

8月10日 例会

8月21・23日 オリ回支部山行

7月24日 オリ回支部山行

例会の会場が影山宅に変更になり
ましたので御注意。

例会 8月10日
18時より 宅
影山中区初音町ト19
急行黄金町
京浜下車

準例会
7月28日
19時より
小町だんご

カワ3号

ユ

昭和40年8月10日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 丹野 昌

カ112回支部山行

お月見山行

奥多摩 御岳・大岳

9月12日 (前夜発)

コース 立川 — 御岳 — 御岳山 — 大岳山 — 鋸山
— 氷川 — 立川

歩程 約 フ 時間

費用 約 600 円

係 小川 竜未リ

横浜市港北区青砥町 609

打合せ 9月8日 (水)

18時30分より 小町だんごにて

地図 五日市

例会

9月14日
18時より
影山 宅

準例会

9月22日
19時より
小町だんご

本年度後半期山行地

オ一一七回

一月

箱根

係 鈴木

笛の登山 係中山

オ一一三回
十月初旬

日帰り

オ一一八回
二月

丹沢大野山 係影山

オ一一四回
十一月初旬

一般向

夜行日帰り

オ一一五回
十一月下旬

一般向

日帰り

富士山 係熊谷

オ一一六回
十二月五日

コースタイム 平塚(18.09) 大妻野(18.45) 18.53 沢
 沢(19.05) 19.10 大倉(19.40) 塔ヶ岳(22.45) 泊(26.45)
 ノ塔(8.35) 8.15 ヤビツ峰(10.06) 10.25 羊毛(11.55)



スキー合宿 係佐藤

オ一一八回
丹沢キャンプ

二月

係 佐 藤

山行却報 片口
オ一一〇八回 参加者 鈴木口之(參)

大倉 係奥野
年行 沢 忘山 丹
前夜早立ち

月25日の夜からナイトハイクと洒落こんだ。
大倉から歩きはじめる頃雨が本格的に降つて
きた。吉沢平を過ぎる頃からガスが深くなつ

オIII回 支部山行

安達太良山 8月21.22日

——湯川渓谷より安達太良山へ——

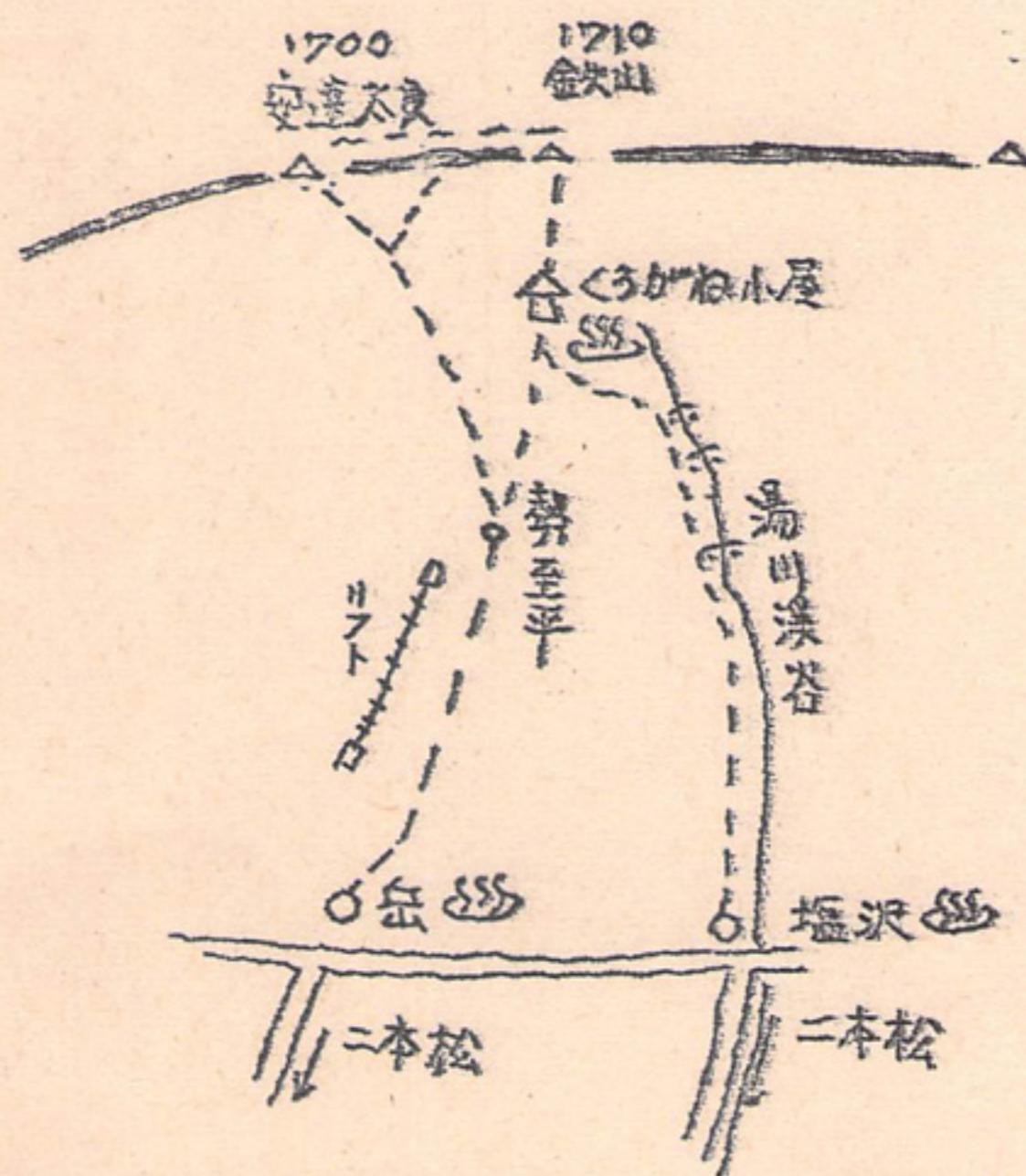
湯川渓谷は安達太良登行コースの内でも、もっとも楽しく且つ三階の滝、相恋の滝、ハ幡の滝など変化に富み、景勝の美でもすぐれている。

(コース)。①1日 上野 ----- 二本松 $\frac{1\text{hr}}{\text{バス}}$ 木ノ根坂 $\frac{2\text{hr}}{\text{バス}}$ 屏風岩 $\frac{1\text{hr}}{\text{バス}}$ <3かね小屋

②2日 <3かね小屋 $\frac{1\text{hr} 20\text{min}}{\text{バス}}$ 安達太良山 $\frac{30\text{min}}{\text{バス}}$
 馬の背 $\frac{10\text{min}}{\text{バス}}$ 鉄山 $\frac{30\text{min}}{\text{バス}}$ <3かね小屋
 $\frac{40\text{min}}{\text{バス}}$ 勢至平 $\frac{1\text{hr} 30\text{min}}{\text{バス}}$ 岳温泉 $\frac{30\text{min}}{\text{バス}}$

二本松 ----- 上野

(費用)



東京電環 \leftrightarrow 二本松
 往復 1400-
 バス 約 200(往復)

小屋代 650- (2食付)
 計 2250 円

係 熊谷 卓夫

塩沢 (打合せ)

8月17日 18時

小町にて。

てきた。花立の頭でガスと雨のため道がわからずだいぶ時間がかゝってしまった。尊仏山

荘で泊まる。夜半激しい雨だった。翌日起床

四時雨は上つたので外に出ると蛭から富士愛鷹箱根に雲海がかゝり高山的気分を楽しむ。

帰りは表尾根を下る。三ノ塔までは静かな尾根歩きであったが、三ノ塔の下りから丹沢銀座のにぎわいとなってしまった。

オ一〇九回 北アルプス山行報告

参加者

久保田治郎 高山美恵子

中山一重

コメスタイル 有峰(6・00)折立(8・10)8・40太郎

小屋(4・45)15・30薬師岳(7・45)18・10太郎小屋(9・

25)泊(6・30)カベツケ渡し場(9・00)10・00雲の平小屋(14・10)15・20三俣小屋(18・45)泊(6・20)双六小屋(8・

35)10・00大ーマ乗越(2・00)新穂高温泉(4・40)

一日は豪雨のためバスが有峰近く入らず真

谷で降ろされ有峰まで歩きここで泊る。二日

は快晴折立を経て三角点近急登、三角点に出

れば目前に薬師を見、遠く大日・剣岳も美しい。ゴロフ場の様な太郎平の真中太郎小屋に荷物

を置いてサブで薬師岳往復、夕暗の時間切れ寸前太郎小屋着、オミ日朝焼の後雨 悪天候と判断の上コースを変更して雲の平に道をとる。雲の平はたゞでさえ道の悪いところに持

ってきて雨のためあしるこの中をいくがごとし皆靴の中で足が泳いでいる。日本庭園のや
一・オニ雪田がいまだベツトリとついて見事、

全員ビショぬれでやつとの思いで三俣達華小

屋につく。オ四日又雨昨日よりなお悪い、天氣予報も良くなる見込みがないので、双六小屋を経て小池新道を下る。雨で増水しており秩父沢が渡れず上流の雪渓の上を渡る。最後の丸太一本に針金のヘズリでもおゝりに緊張さ

せられやつとの思いで新穂高温泉まで下る。

例 A ムだより

先月ハイキング時の食べ物について、いろいろ討議しましたところ一般に男性は粗食で女性はいろどりどりの食べ物を持っていくようでした。いろくためになることもありました。皆さん同じ様な食べ物がありました。

その中でもつともいゝのはオニギリを作るときもち米を少々入れておくとねばりがあつて口あたりが良いといふ又高地でもやはりご飯にもち米を入れると良いとのことです。

来月の例会のテーマは、天気図の書きかたです。一人一人が天気図の見方を身につけましょう。8月号の本をもつてきて下さい。

○新入 A ム二日和介

相野谷喜世子

横浜市戸塚区阿ス和町二〇七〇

七月の例会より入会いたしましたので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

行 事 報 告

7月13日 例会 出席者12名 婦人会館

7月17・18日 北アルプス 参加者5名
7月23日 委員会 出席者全員 小町だんご

7月25日 丹沢新茅の沢 参加者2名
7月28日 準例会 出席者 名 小町だんご

行 事 予 定

8月17日 安達太良打合せ 18時 小町

8月21・22日 安達太良山行

8月25日 準例会 19時 小町

9月8日 お月見打合せ 18時30分 小町

9月12日 お月見山行 御岳・大岳

9月14日 例会 婦人会館



カ74号

工

昭和40年9月14日発行
S.H.C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 閨野 昌

カ113回支部山行

紅葉の奥日光

小田代ヶ原と千手ヶ原

10月10日(前夜発)

コース 横浜 — 浅草 ----- 日光 — 湯滝 —

小田代ヶ原 — 弓張峠 — 営林署小屋 —

西ノ湖 — 千手ヶ原 — 龍頭の滝 — 菖蒲ヶ
浜 — 日光 — 上野 — 横浜

徒歩 6時間(昼寝をして、のんびり歩いて)

費用 1300円(交通費)

打合せ 10月6日(水)

19時00分より 中山宅で

申込み 当日まで受付

係 佐次和子・中山一重

Tel (70) 6041 Tel (68) 0353

奥日光

戦場ヶ原はほとんどの人がバスで通り抜けてしまう。
しかし本当の美しさは歩いてみなければわからぬ。

朝もやをついて歩き始める

頃は湯川の清流に釣り師はさかんに糸をたれる。
小田代ヶ原には千草八千草が揺乱と花を咲いて美しい。その中を心まかせ脚まかせにさまよう心地よさ！

西湖は訪う人も稀な湖で幽玄で閑静なことは、おそらく日光の湖沼のうちでも、尾指の存在である。

ここに錦繡おりなす仲秋の紅葉はまったく美しいかぎりである。
一四〇〇米の高原を心ゆくまで味わい水場でバーベキューを作つて楽しみましょう。

申し込制なので注意して下さい。

地図
1/5万
集成図
日光附近



円沢新茅の沢〔7月25日〕

コースタイム 横浜〔8:09〕茨沢〔9:15〕

大倉〔9:40〕新茅の沢出合〔10:40〕鳥尾山〔12:35〕〔13:00〕林道〔13:40〕大倉〔14:40〕茨沢〔15:20〕横浜〔16:45〕

待人来たらずで横浜ワ・00の予定が8:09分に発つ。空はどんより曇り今にも雨が降りそうな天気である。それでも茨沢に降りるとけっこう登山者は居った。

工事中の林道をのんびり行くとやがて新茅の沢の出合。対岸の懸垂岩では相変わらず懸垂下降や岩登りのトレーニングをしている。出合で一ぶくしてからいよ／＼沢登りを始める。昨日の雨で沢は増水しておりF1,F2と軽く直登できたがF3は頭から水をかぶりそうとので捲くやがて新茅の沢最大の大捲〔12m〕につく。ハーケンを打ちながら取付いているパーティがいた。なか／＼手こづっている様だった。以前は棚の中間にテラスめいたものが

あつて比較的登り易かつたがそれが壊れて全くの垂直になつて難しくなつていてる。

我々は無理しないで捲く。大棚からえんて

状の滝までは大した滝もない。丈んてい滝の上部は全然水がなくなつていて新茅に初めて入つたものはそこら辺りで水の用意をする。

しかし新茅の沢はそこからが核心部で、やがて沢は挟まり水量も多くなりシャワークライミングをよぎなくされる。最後にチヨンクストーン状の潤れ滝となる。それからガザ場であるが二つ位い滝めいたものがある。これは岩がもろく慎重を用する。それを越えて右手の鳥尾尾根に取付き、鳥尾山頂に向う。頂上はガスつて小尾も見えない。昼飯らしきものをとつてサッサと鳥尾尾根を下る。下りだしたらガスが切れてきた四十分位下つて林道に出る。林道の山側にはユリの花が美しく咲き乱れていた。



オーネー一回山行報告

安達太良山 [8月21・22日]

17号台風のため中止となりました。

打合せに出てこられた方は、ご苦労さんでした。

例会だより

先月の例会はめずらしい人がきて、だいぶに

ぎやかでした。めずらしい人はこりすに毎月出席下さる様お願いします。また今年になつて

て一回も出席しない方もぜひおいで下さい。

あなたも我々の仲間です。よりより会にして

いくのにもあなたの出席が必要なのです。

また会の運営上不平。不満又は希望等がありましたら、委員まで例会でも手紙でもどしどし言つてきて下さい。

8月の例会から天気についてやっています。

今月と来月は天気図の書き方ですので、皆さんが天気図を書ける様になりますよう。

なお10月の例会にも8月号の本を持ってきて下さい。

行事 報告 告白

8月10日 例会 出席者13名 影山宅

8月21・22日 安達太良山 中止

8月25日 委員会 出席者3名 小町だんご

準例会

9月11日 お月見山行 参加者3名

行事 離定

9月22日 委員会

準例会 19時 小町だんご

10月6日 奥日光打合せ 19時 中山宅

10月10日 奥日光山行 小田代ヶ原千手が原

10月12日 例会 18時 婦人会館

準例会
9月22日
9月11日
小町だんご

例会
10月12日
10月18日
婦人会館



昭和40年10月12日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 南野 昌

カワ5号支部山行

乾徳山

10月24日(前夜登)

コース 横浜 → 新宿 → 塩山 → 徳和 → 乾徳山
→ 扇平 → 川浦温泉 → 塩山 → 横浜

徒歩 約2時間

費用 約1000円

打合せ 10月20日(水)

18時30分より 小町だんごにて

係 影山 元芳

横浜市中区初音町1-19

本部山行に合流します。

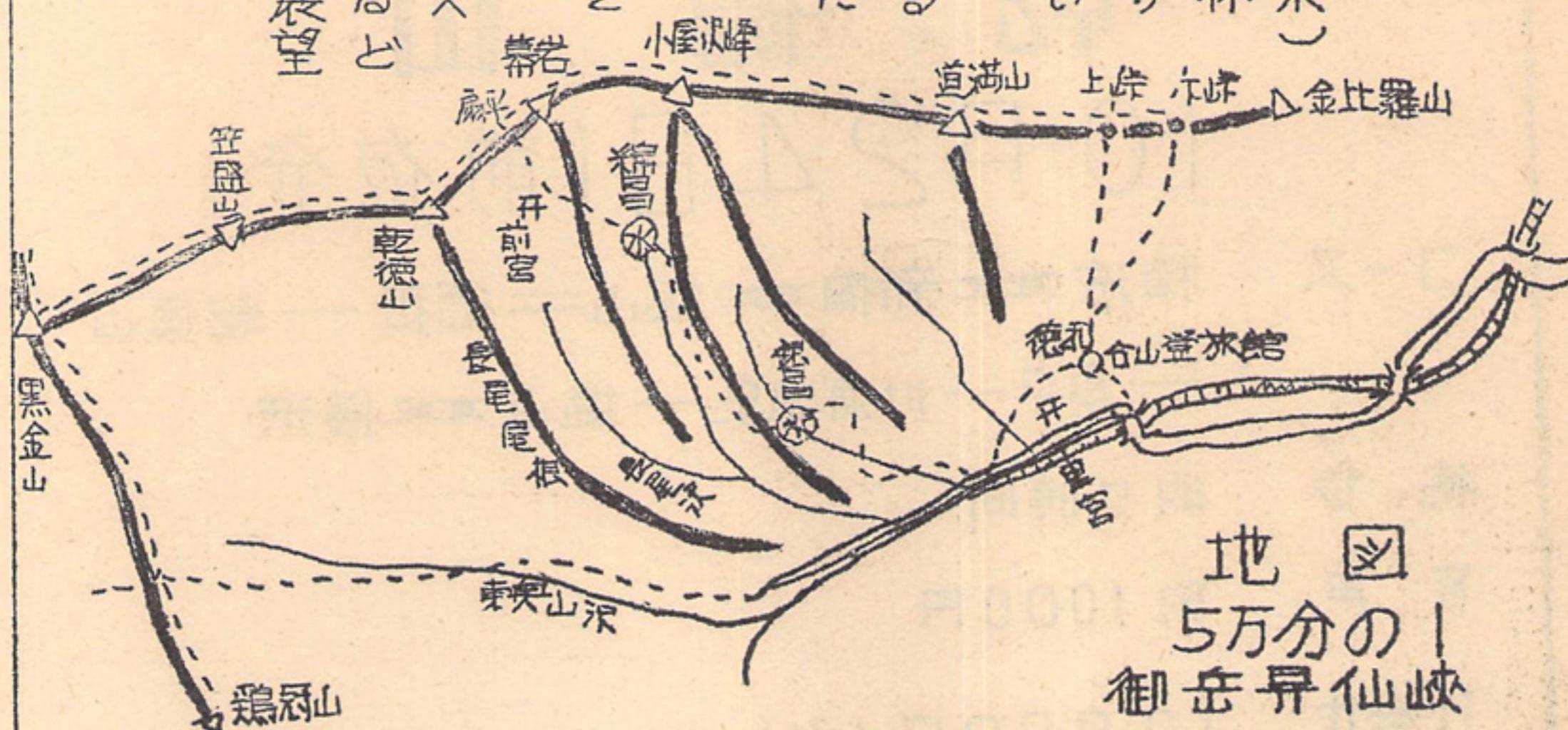
例会

11月9日
18時より
女部人会館

準例会

10月27日
9時より
小町だんご

乾徳山
〔二〇二〇米〕
岩あり、森林
あり、草地あり
牧場があるとい
つたぐあいでの
登りがいのある
山である。また
展望もよく
甲武信・口師・
金峰・黒金など
奥秩父の山々
から南アルプス
富士・大菩薩など
三百六十度の展望
が見れる。



地図
5万分の1
御岳昇仙峡

第一回支部山行のお知らせ

富士山雪上訓練

11月20・21(前夜発もしくは一泊)

予約制 11月9日まで(例会)

係 熊谷幹夫

横浜市港北区大曽根町

花沢方

〔装備〕

アイゼン(6本・8本) ピッケル

オーバーシューズ

注 装備のない人には都合します。

白又山の知識 (二)

- 梅雨明けの直後は、二〇〇〇メートルの稜線でも好天が続くことが多い。
- 無人小屋を使用するときは、事前に必ず連絡をとり 管理人の許可を得てからにすること。万が一無許可で使ったら、必ず下山後に報告しておく。

統く

チシマギキョウ



十文 部 山 行 報 出口

ニュースワ4号

(3)

オーニニ回 お月見山行 御岳 大岳

参加者 岩野昌(係) 鈴木口之 奈藤興司
コースタイム 横浜(21・20) 川崎(21・35・21
39) 立川(22・45・23・23) 御岳(0・16・0・30)
滝本(1・10・1・20) 御岳神社(3・05・5・55)
朝食(6・30・7・30) 大岳(8・20・9・00) 天地
山(10・00・10・30) 鎌岩(11・15・12・00) 水川(13
20・13・31) 立川(14・46・15・02) 川崎(16・07)
小川さんが係であったが 勤めの関係で行
かれなくなる。立川駅に着くと登山姿の人達
が多勢いた。青梅線氷川行の最終電車に乗り
御岳で降りる。改札口を出ると雨らしきもの
がホツリ／＼と降ってきたが、たいした雨
でないので歩き出す。御岳で降りたパーティ
は2・3パーセイぐらいであった。ケーブル下
の滝本まで懐中電灯もいらないくらい道がよ
い。滝本で憩したのち道はガラくした悪
い道となり10・20分ぐらい歩くと道はコンフ

リートの良い道かわり中ノ茶屋までこの道は
続き、茶屋から先は やっと山道らしくなり
ケーブルカーからきた道と合わすと家が建ち
並んでいるところに出ると御岳神社である。
途中何回も休んで空を見上たが月は 顔を出
してくれなかつたが神社に着くころ申し訳程
度に顔を出してくれた。神社の山門のところ
で月見ソバとシャレこみ腹を満たし、雲ゆき
も悪いので ここで朝の明けるまで寝ること
にした。2～3時間位寝ただろうか、あたり
が明るくなつたので出発。奥院の下の道を
通る。この道は水場が豊富である。30分位歩
いたところで朝食にする。又雨が降ってきた
がすぐにやむ。大岳の登りは汗を出して登つ
たが、山頂からの展望は、ガスにさえぎられ
全く殘念である。大岳を過ぎると道はいくら
かやぶつかぶつしている。じょく縦走路と別
れ天地山にと登り鎌岩で水川の町を見ながら
昼食をとり愛宕神社の急な階段を下り水川に
出る。

會計報告

40年4月～9月末日

支 出		收 入	
会 場 費	2310.-	金 4404.-	前 期 残 金
通 信 費	2080.-	費 19150.-	會 金
ア ル バ ム 費	1815.-	代 稿 800.-	原 附(影山氏)
報 雜 費	1265.-	テ ン ト 貸 料 450.-	寄 貸 料
返 済 費	2225.-		
	1605.-		
	14000.-		
		25804.-	

残金 2376.- テント代返済未完 2000.-

上期の通り相違ありません

行事報告

行 事 報 出 口
9月14日 例会 出席者9名 影山 宝
委員会
9月22日 隊列会 出席者3名 小町

行事予定

10月10日 奥日光山行

四庫全書

委員会
出席者3名 小町だんご

10月20日 乾徳山打合廿
18時30分 小町

10月24日 乾德山山行
10月27日 準例会 19

18時30分 小町

二月九日 例会 18時 婦人会館

婦人會館

△ 員 消
自息

思

佐藤浩さんは9月末日で退部しました
「住 所 亦及 由丈」

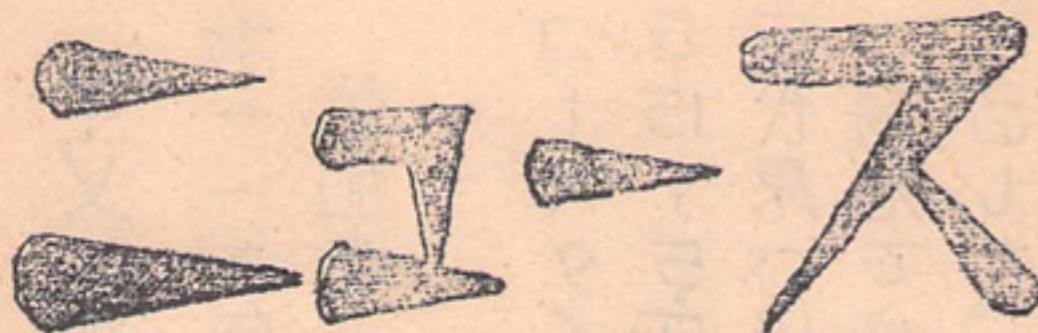
「由史」で退部しました

熊谷幹夫

横浜市港北区大曾根町

花沢方

カワ6号



昭和40年11月9日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
横編集者 関野昌

カ116回支部山行

忘年山行

丹沢大倉

12月5日(前夜早立ち)

打合せ 12月1日(水)

18時30分より 小町だんごにて

係 関野昌

横浜市南区永田町1519

費用 360円(横浜からの交通費)

今年の忘年山行は誰でも参加できる様にというわけで丹沢の大倉にて行います。12月4日横浜を19時前後に出発して、その夜は忘年会翌日は自由行動です。

支那山行報土口

オーニ回 奥日光

参加者

中山一重

佐次和子(係)他三名

相野谷喜世子

コースタイム 浅草(0・50臨時)東武日光(5・55~5・55)湯元(7・30)湯ノ瀧(9・15)小田代原(10・30)壺頭瀧(14・00)日光(15・25)湯元でバスを降りると、ホツリ／＼あたり出した。空が明るいので心配することはないだろう。舟前駒がちらほら朝の散歩に出かけ、湯煙のたちのぼる湖面にはボートが浮かんでいる。対岸には湖上山が大きくなっている。白根山を隠している。湯ノ湖畔をバス道沿いにもどり、湯ノ湖橋を渡って湯をわかして落水するうるわしい湯ノ瀧へと出る。もみじの赤に滝の白さが目にしみる。思わず感嘆の声をあげしげしげただ茫然。さあこれから今日の行動開始、瀧の流れを右にみて小

屋まで降りる。もう一度見物して瀧と別れを告げる、空をあゝう大木の間をゆく、草は褐色に化し、花はすでにない。道に敷かれた丸木の元に緑のわたすげが茂り、雨期には水が多かっただろうと想像される。白樺の林に寄り道をし、風のまにく 散りゆく落葉に足をとゞめる。清き小川の流れに影をうつし、小鳥の声に耳を傾け 水藻におゝわれた小さな泉内池(いすみやどう)を眺めて原に出る。湯川の向うの戦場ヶ原はバスが通っているというのに、白根隠し外山(とやま)の寒に抱かれたここ小田代原は別世界のようにならぬ。大展望はないが、赤、黄、緑と美しく色どられた山々に囲まれた野原に秋の陽は掛けもない。やがて左へから松林へ続く。白秋の詩が思い出されしみじみと味わう。林向の山径を右へ左へ心ゆくまでさよひ歩く、

紅葉の小径

ヤドリ歩く人

ふりかかる露葉

現実とは思えぬがめである。道幅が広まり自動車の砂埃に夢がやぶれるこのあたりから観光客に行き合う。石楠橋を渡り湯川の清流に再会する。晩食をすませ川沿いに下る。名の如く童が躍り狂っている様な童頭の童が現われ、バス路に出て、今日の散策は終りをつげる。

山の知識



- 地方のバス料金は、あゝもね一時に乗つて百円と見当つけておいて間違いない。
- 夜行で寝られない人は、小量のアルコールの助けをかりた上でサングラスをする。ハンカチーフを下にすれば万全である。
- 歩き方のコツは、足の裏全体に体重をのせること。歩巾は狭く、ゆっくりとした歩調で歩くと疲れない。ヒツテをあげるときは、歩調をくずさずに歩巾で調節する。
- 50分歩いて10分休み、一時間単位で行動する習慣をつけると記録をとるときに便利です。

・行動中の長休みは禁物。体、とくに足が立て疲労する。

・ショートパンツは、いかれたGパンをヒザ上で切つたものがよい。なお着用の折は、ヤズ・岩角、虫、そして冷えに充分注意する。足を冷やすのは疲労の一因となる。

◎ 本部内閣係一一一入

11月4日本支部合同委員会に於て
66年度前半の山行地未定にもとづき、横浜支
部としては次の二回提出した。

3/6 南郷山・幕山

6/4・5 上の原高原と武尊山

行 事 報 告

10月12日	例会 出席者4名 篠人会館
10月24日	乾徳山山行 参加者2名
10月27日	委員会 出席者3名

行 事 予 定

11月20・21日	富士雪上訓練山行
12月1日	忘年山行打合せ
12月5日	忘年山行 丹沢大倉
12月14日	例会 18時30分 影山宅

◎ 準干例会発止について

出席者が一人もいないため、今後準例会を
発止します。

◎ 例会の場所変更

12月の例会場所が影山氏宅に変更なりまし
たので注意して下さい。

△△ 見 消 自心

10月17日 慶谷幹夫氏は御結婚されました。

おめでとうございます。

「退 部」

水野邦保さんは 10月末日で退部しました。

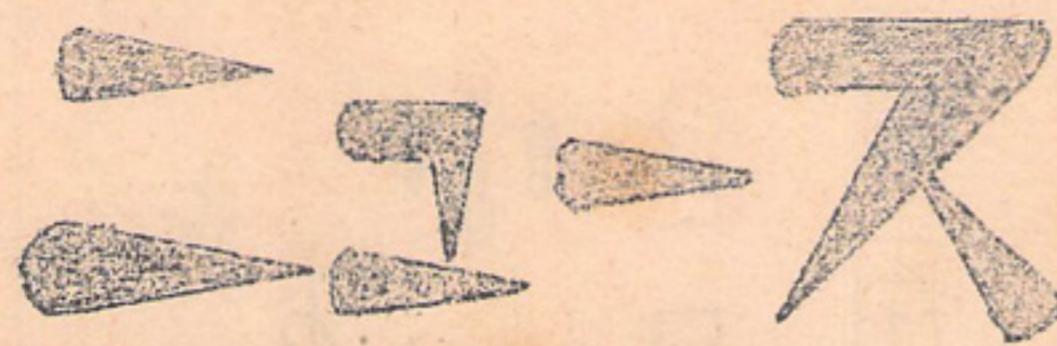
例会

12月 14日

18時30分

影山宅

カ77号



昭和40年12月14日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 田野昌

カ117回支部山行

箱根 岩戸山 (734m)

1月30日(日帰り)(雨天中止)

コース 横浜 → 熱海 → 十国峠口 ケーブル十口峠
----- 日金地蔵 ----- 岩戸山 ----- 泉越え --- 湯河原
→ 横浜

集合 横浜駅5・6番ホーム陸橋下 8時

横浜発8時05分伊東行最前部乗車

係 鈴木国之 (打合せ行かせんの係まで連絡)

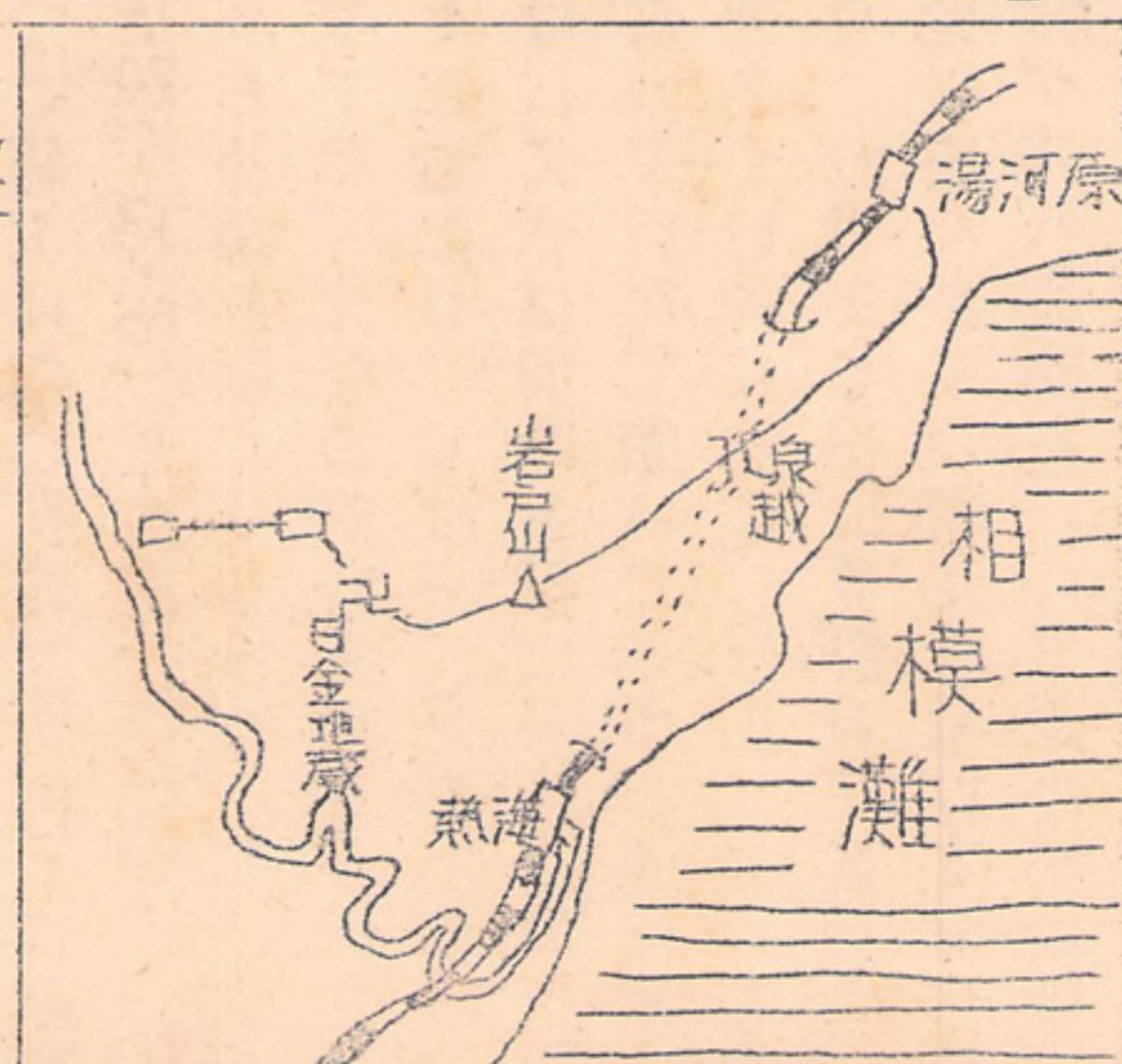
横浜市保土ヶ谷区

保土ヶ谷町1-24

徒歩 4時間

費用 500円位

持物 昼食・水筒・顔



オ一一八回

支文部山行

おしらせ

支文部山行報社口

オ一一四回 乾徳山(10月24日)

参加者 影山元芳(係) 浜野条治

相野谷壹代子

2月19・20日

費用 約一一五〇〇円

申込〆切 一月集会

係 熊谷幹夫

横浜市港北区大曾根町五八五

花沢方

年一回のスキー山行ですので皆様の参加を待ちます。又宿の予約の関係で一月の例会まで係宛申込んで下さい。

なお滑れない人も参加すれば、滑れる
ように親切に教えます。ぜひネバ。

した道を行く。この所より若い人とロートル組とが離れ出す。しんがりはメートルの上つた浜野老。勝手知つたる道なのでライトをあづけ、他の人は先行することにし、銀晶水、駒止とすぎる。あたりが大分明るくなつた頃錦晶水につく。タキ火をして朝食の仕度をしている人、一休みしている人、先を急ぐ人等大勢いる。我々は牧場小屋へと向う。匪はすっかり紅葉で美しく乾徳山の岩峯もすぐ目の前に見える。左側に最近建つた白樺小屋がありこれと対称的な牧場小屋がある。山登館のオババなきあとや2の乾徳バアサンの久保寺さんが居り、我々を暖かく迎えてくれる。一休み后自己紹介をし出発、前里の白蔵をすぎ扇平への急な登り、はるかかなたに甲府盆地と富士が望まれる。扇平につくと奥秩父の山波と目前には大菩薩連嶺が立つてゐる。

ここから道は樹林の中をハシゴと岩の興味ある行程で案しませてくれる。山原直下には杖葉岩の大岩壁があり、ここにはフサリが下

つてゐる。登る人下山する人で大分混んでいる。山原には三角点はないが奥の宮の小祠がある。口師、甲武信、金峰と手にとれる様に近く見える。南アルプスも一寸顔を出す。川浦温泉で一浴との事なので往路を牧場小屋に戻る。牧場のオババを中心に写真をとり一息入れた后、大手牧場へと向う。我々につまでも手を振つてくれているオババの姿が印象的だ。やはり私にとつてはなつかしい思い出の山、再び訪れるのは何日になるだろうか。大手牧場より川浦温泉への道は手入れがよくないため大分荒れています。予定を変えてミノ橋に出ることにし、川浦温泉には寄らず15時13分のバスにて塩山に向つた。

新年初集会のあしらせ

一月十八日 夜

女人会館

なあ担当アレゼント交換を行こますので

卷之三

しだりの原稿草莽集

”じだり”17号を発行したじますので発行文

全頃もれなく、ことの、じだに名前を出

七

卷之三

中正初吉町 一九

新立左初

1月11日(火)

18日未だ

婦人會館

100円程度

6
日物を忘れず

ヨーフ

昭和41年1月11日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山ガ
編集者 関野 昌

あけまして
おめでとう
ございます

今
年
も
大
い
に
張
り
切
つ
て

樂
し
い

山
歩
き

を
続
け

ま
し
ょ
う

S·
H·
C

横浜支部

委員
一同



十文 部 山 行 取 報 告

オーネ巡回 石若山 (11月21日)

参加者 久保田治(係) 久保田国栄

中山一重 高山美恵子 中里一久

他3名

コースタイム 相模湖発 (8・33) 石若山入口
(8・45～9・05) 石若山 (11・30～13・00) 大明神山
(13・40～14・00) 丸坂バス停 (16・00)

早朝の重苦しいくもり空に私と高山さんでは又々天気はダメかいなと心配されたが八王子に着く頃はすっかり晴れ上り雨のジンワスを吹き飛ばしてくれた。相模湖駅から石若山入口迄わずかの時間だ。今日はのんびりムードだからバスを降りてすぐ大休止。それから写真撮り／＼歩き出して丁度歩きつかれた頃

顕鏡寺に着く。境内の大銀杏が老杉が静かさな山寺によく調和していいムードだ。いよいよ

よ急登に掛れば擁護岩迄一ピッチ あとは山頂迄のんびりだ。山頂からの富士が美しい。

ローストチキンにビール迄出てデラックスな昼食だ。コップ半分のビールで赤くなつた私に中里坊やに「安い大人だ」といわれて大いにくさる。記念写真後出発したら本当の山頂はもう一登りした所にあった。裏から見た丹沢が逆光のシルエットになって美しい。なかなか美事な眺めだ。いよいよ下りに掛れば等間かくのコブが三つ四つと続いて面白い。

相模湖から道志・高尾の山々と箱庭の上を往く様だ。最後のいこいを大明神の頂きでとり今日の良き山行を感謝してファイナーレとする。

オーネ巡回 忘年山行 濱次郎沢 (12月5日)
参加者 関野昌(係) 井野条治
影山元芳 鈴木口之 他一名
コースタイム 渋沢 (20・45) 福祉山荘 (21・00)

58.05 源次郎出合(9.35~9.55)大棚(11.00~11.30)大倉尾根(12.40~13.20)駒止山荘(13.45~14.05)一本松(14.20)観音茶屋(14.30~15.30)大倉(15.45~15.50)沢(16.05~16.09)海老名(16.45~16.50)横浜(17.30)タクシーで福祉山荘の玄関前に到着。早速忘年会とする。スキ焼とアルコールで夜のふけるのも忘れるほどで寝たのは24時を少し回っていた。翌日寝ながらにして日ノ出を見8時頃山荘を出発。少し行つた所で糸野さんは大倉尾根へと我々一行は源次郎沢と再会を期し別れ水無林道を行く。12月だというのに沢に入る人が大分多いようだ。源次郎沢出合で鈴木君が用事があるというので別れる。いよいよ源次郎沢の朔行である。F1・F2・F3……F10大棚までわけなくきてしまった。沢はこの上で二股に別れていて、左側が開けていたのでつい／＼誘われてしまい、ちょっととい



はやちね
うすゆきそそう

つたところでこれは左股であると判断し逆戻りする。約5分位のロースタイムである。左俣でも良いのであるが右俣にはチムニー状の岩場があつて大変面白いと聞いていたので、バツクし右股に入る。しばらく行くと沢は涸れチムニーの下に出る。このチムニーの一番下の上部に大きな石が溝を埋めていた。昔はこの石がなかつたのでスイ／＼と登れた、そうだった。この岩場を通り抜けると沢はまた二股に別れている。普通ルートは右に入るのであるが左に入ってしまいすごいがし場のトラバース気味に登り切ると花立山荘の下に飛び出た。ここで暖かい日射しを浴びながら昼食を食べて大倉尾根を下る。途中で駒止山荘で糸野さんと再会し観音茶屋に寄つて大倉に着く。

オーネ八回 支部山行

スキー山行打合せ

係 熊谷幹夫

行 事 報 告

1月18日(火) 18時 小町だんご

12月14日 例会 出席者11名 影山宅

まだ申込んでいない人は 行きたい人は 打合せに出てきて下さい。

行 事 マチ 定

◎ 委員改選のはがきをまだ返送していない人は、至急返送下さい様お願いします。

1月30日 オーネ七回支部山行 岩戸山

2月19・20日 オーネ八回支部山行 スキー

◎ “しだ”の原稿募集集

◎ 例会時間の変更

先月号のニュースで原稿募集したのですが原稿の集まりが悪く、”しだ”を発行することができません。皆様のご協力をお願いします。

送り先は

横浜市中区初音町一ノ一九 影山元芳

新 入 会 員 幼 和 介

伊藤 三千代 平塚市諏訪町一四四九
よろしくお願ひ申し上げます。

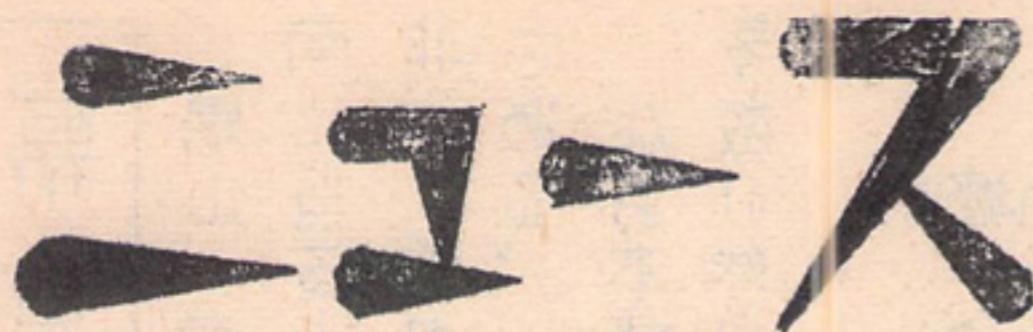
いままで18時30分から行っておりましたが集まりが悪いため19時頃から例会を始めておりましたので、今後19時から始めます。

時間を守って、よき例会にいたしましょう。

2月の例会に本部の人があきますので全員が

例会に出席します。スライド持参下さい。

例会 2月19時～21時 婦人会館



昭和41年2月8日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 関野昌

カ119回支部山行兼本部山行

^{まつ やま}
幕山から南郷山

(615m) (611m)

3月6日(日帰り)雨天中止

コース 横浜 —— 湯河原 —— 鍛治屋

幕山入口 幕山 南郷山 真鶴

—— 横浜

集合 横浜駅5・6番ホーム 陸橋下 朝8時

横浜発8時05分発 伊東行最前部乗車

係 鈴木 国文 (打合せは行ないませんので、
係まで連絡のこと)

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町1-24

徒歩 約4時間位

費用 約400円位

持物 昼食・水筒・雨具・歌集

鷹・玄岳・達磨山・天城と伊豆の山々が、海・山間に三等三面港がおかれてゐる。空を見上には夢の初島それに大島がうすぼんやりと見えさすがに十国へ伊豆・相模・駿河・遠江・甲斐・武藏・安房・上総・下総・常陸の十国が見え通せるからつけられた名前である。峰といわれるのはどう展望が良い。峠よりちよつと下たところに

箱根路を我が越え来れば伊豆の海や

沖の小島に波のよう見ゆ

と書かれた歌碑があつたこの碑は鎌倉八幡宮で暗殺された悲劇の主源実朝が、日金地蔵に詣でた際書きのこしたものだ。その歌碑のところから左に曲り霜どけした階段を下るといつとした巾広い道に出日金地蔵に着く。茶店みたいなものがあり、人が住んでいる様である。日金地蔵をあとに切り開かれたばかりのめかった道を行く。この辺りは茅戸の原で氣持が良い右に熱海左に湯河原の温泉が見える。霜どけしてしなければ良きアロムナードコースである。ほどなくして岩戸山に着く。

山腰には三等三面港がおかれてゐる。空を見上ると雲が多くなつていて富士山を窺して、いた。ラジュースを炊いてブタ汁を作る。風があまりなく暖かくて良い氣持だ。山頂は懇いをほびくにして下山にかかる。下り道は急で十分位下ると自動車道となりがつかりする道を渡しながら行くとミカン畑となり真鶴半島の三ツ石^{鳥居}河原駅が望まれ千丈橋を渡ると湯河原駅である。

正月に人工スキー場完成

湯河原は善通寺東寄りで標高七六〇～八〇〇メートル面積六万六千平方メートルリフト一基ロープトウニ基、人工造雪のためにスノージェット二〇臺を配している。

開場期間は12月末から3月末日まで滑走料は大人(一日)休祭日700円、平日500円、小人半額、スキー一日100円ストック一〇〇円、スキー一日100円セツト舞は600円、リフト一回二〇円、スキーケースの場合は必ず予約申込が必要。

41年度委員会改選結果

全会員に往復ハガキを送り役員改選の投票をお願いしたところ、次の結果となりましたので報告します。なお投票用紙19枚回収した投票用紙10枚でした。

[代 表]

[委 員]

行 事 報 告
行 事 予 定

1月11日 例会 出席者12名 婦人会館
1月30日 岩戸山山行 参加者4名

2月2日 委員会 出席者3名 小町だんご
3月9日 例会 19時より 婦人会館
4月3日 本部集中山行

影山元芳	126
久保田治	112
小川竜利	111
鈴木国之	106
熊谷幹夫	105
関野昌	104
小川竜利	103
齊藤清	102
相野谷喜世子	101

本部集中山行のお知らせ

4月3日(日)帰り

今年も例年のごとく本部集中山行が行われます。山行地・その他は不明ですが3月のニュースで詳細に紹介いたします。

多めご参加下さい。

例会
3月9日(水)
(水曜日なのでご注意を)
19時
～21時
婦人会館

41年度委員会改選結果

全会員に往復ハガキを送り役員改選の投票をお願いしたところ、次の結果となりましたので報告します。なお投票用紙19枚回収した投票用紙10枚でした。

[代 表]

[委 員]

行 事 報 告
行 事 予 定

1月11日 例会 出席者12名 婦人会館
1月30日 岩戸山山行 参加者4名
2月2日 委員会 出席者3名 小町だんご

影山元芳	126	中山一重	1
久保田治		鈴木国丈	2
小川竜利	112	熊谷幹夫	3
鈴木国之		関野昌	4
	1	小川竜利	5
齊藤清	245567	相野谷喜世子	6

本部集中山行のお知らせ

4月3日(日帰り)

今年も例年のごとく本部集中山行が行われます。山行地・その他は不明ですが3月のニュースで詳細に紹介いたします。

お申ご参加下さい。

例会
3月9日(水)
(水曜日なのでご注意を)
19時
～21時
婦人会館